

空間情報処理による 地域分析と課題解決



社会基盤工学講座
教授 星川 圭介

研究分野

衛星リモートセンシング^(*)、地理情報分析、地域計画

研究内容

衛星リモートセンシングや地形・地理情報の分析、各種現地調査・計測によって、安全で活力ある地域を作るための様々な調査・研究に取り組んでいます。

私の研究のポイント

まちづくりや農山村の活性化、環境監視、農業生産性の向上、用水路事故防止まで、地域が抱えるさまざまな課題に幅広く対応します。

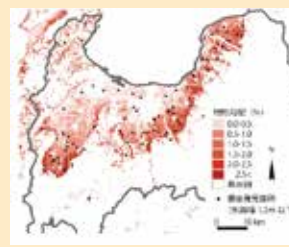
衛星リモートセンシングなど地域を俯瞰する技術に加えて、現地調査によって現場を深く理解し、地域の問題の本質に迫ることを重視しています。

REPORT / リポート

富山県内では用水路に転落して死亡する事故が毎年10～20件程度発生しています。本研究室は富山県からの委託を受け、用水路死亡事故の防止に向けて事故の実態調査を行い、小規模な用水路の中で流れが比較的速い（1.0～1.2m/s程度）地点で死亡事故が発生しやすいことを示しました。富山県には地形勾配の大きな扇状地の水田が多く、流れが速い用水路が他県より多く存在すると考えられます。また事故原因の究明と合わせて各種技術・手法を用いた事故防止対策も進めています。



等身大人形を用いた事故再現実験



水田地帯の地形勾配と用水路事故